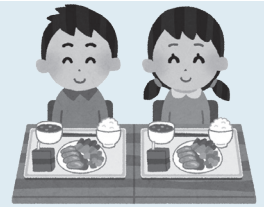


# 学校給食費無料化アンケート集計結果



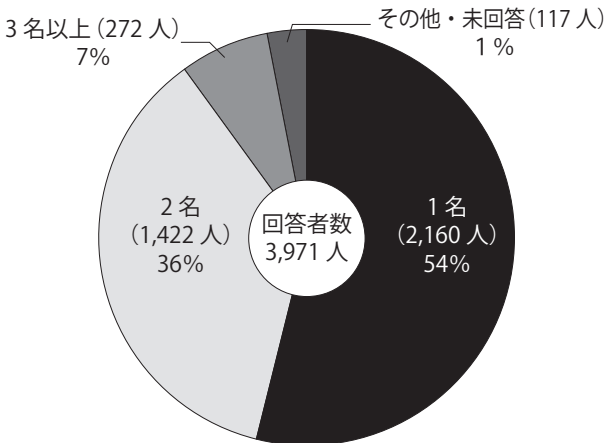
問 教育総務課 湯 TEL(98)7111

- 実施日…7月11日(月)～20日(水)
- 対象者(小中学生保護者)…4,094世帯
- 集計枚数…3,971枚
- 回収率…97.0%
- 集計結果…下記のとおり



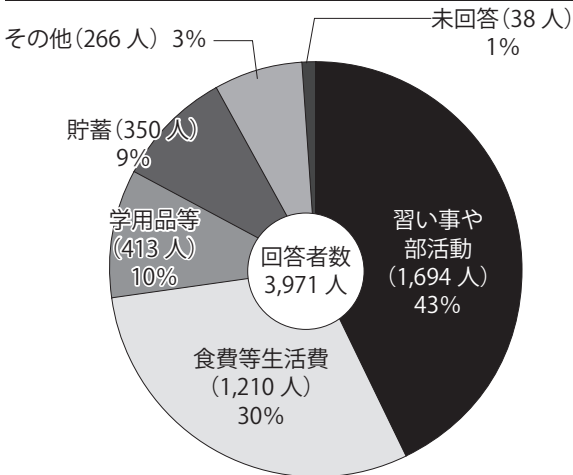
※詳細は市ホームページをご確認ください。

## 【問1】 現在、小中学校に在籍しているお子様は何名ですか。



※小中学校に在籍していない就学前と高校生以上のお子様  
の数も記入いただいた方もいるようです。

## 【問3】 支払うことのない給食費分のお金の 使い道を次の中から選んでください。

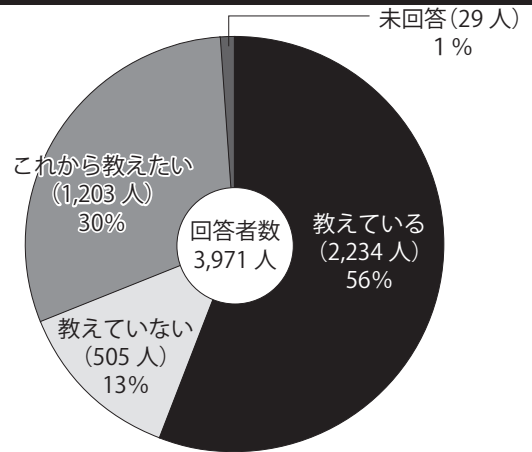


- その他の内訳(抜粋)
- ・選択肢をひとつに絞れない。
- ・意識して使っていないので、わからない。

### 【問3】まとめ

「習い事や部活動」、「学用品等」を合わせて5割以上を占めており、子どもたちが学習塾や習い事などの教育を受ける機会を増加させたといえる。また、進学のために貯蓄しているという意見もあり、それぞれの家庭で子どもたちのために使っていることがわかる。

## 【問4】 子どもに給食費は税金であることを 教えていますか。

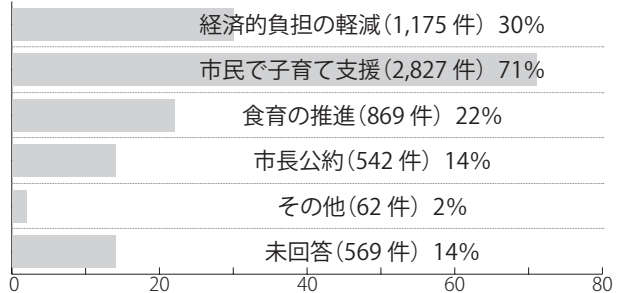


### 【問4】まとめ

子どもに対して給食費が無料であることを教えている、またはこれから教えたいと考えている保護者が8割以上に上り、前回のアンケート同様に給食に関心を持ち、親子で話し合いの場を設けている家庭が多いことがわかった。

## 【問5】 子どもに無料化になった理由を どのように説明していますか。(複数回答可)

回答者数 3,971人 / 全回答数 6,044件

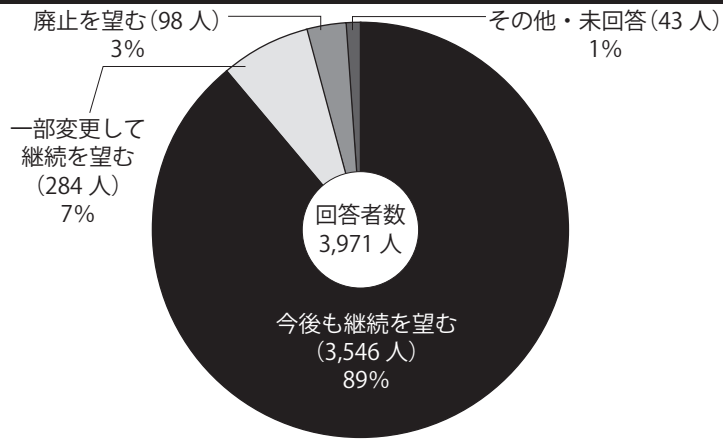


- その他の内訳(抜粋)
- ・給食費未納問題を解決するため。
- ・市民に支えられていることに、感謝できるように。
- ・本来は保護者が負担するべきである。

### 【問5】まとめ

給食費無料化の理由について、「市民全体で子育てを支援するため」と教えているまたは教えたいと考える保護者は、7割以上に上り、子どもたちに納税の大切さや地域住民への感謝の心を教育するきっかけとなっている。また「食育を推進」と回答している保護者も2割に上り、家庭での食育にもつながっている。

**【問2】 給食費無料化について、あなたのお考えに近いものを選んでください。また理由についてもお答えください。（自由記述）**



●その他の内訳（抜粋）…複数に丸がついていたもの。

**【問2】まとめ**

「今後も継続を望む」との回答が約9割を占めており、理由としては「経済的負担が軽減される」、「子どもたちが安心して給食を食べられるように」という意見が多く見られ、子育てのしやすい環境づくりを推進しているといえる。一方で、「一部変更継続を望む」、「廃止を望む」と回答した方の理由としては、「保護者が負担すべき」、「子どもたちのための別な事業に税金を使ってほしい」という意見が多くみられた。

**【問2】 選択した理由(抜粋)**

「今後も継続」を選択した主な理由
経済的負担の軽減となり、別な出費に回せる。(生活費、教育費、貯蓄等)
未納に関するトラブルがなく、すべての子どもたちが安心して給食を食べられるように。
少子化対策、子育て支援に有効だと考えるため。
「一部変更継続」を選択した主な理由
保護者が負担すべきだと思うから。(保護者が自分のために一生懸命働いている姿を見せることも必要)
市民全体の負担を減らすため。(子どものいない家庭との不公平感を減らすため。)
子どもたちのために使って欲しい。《学校の施設・設備(エアコンの設置、トイレ改修等)通学路の整備、学童や保育、学習支援、甲状腺検査など》
「廃止を望む」を選択した方の主な理由
保護者が負担すべきだと思うから。(保護者が自分のために一生懸命働いている姿を見せることも必要)
子どもたちのために使って欲しい。 《学校の施設・設備(エアコンの設置、トイレ改修等)通学路の整備、学童や保育、学習支援など》
「その他・未回答」の主な理由
どちらでも大丈夫です。
一部変更継続や廃止にしても、支払わない家庭が多そうなので、その分市民税を上げるべきだと思う。

**自由意見 (給食に関連するもの抜粋)**

ご意見	担当課からの回答
無料化で給食の量や質が下がるなら保護者負担でもやむなし。	1カ月あたり小学生4,200円、中学生4,900円を予算としています。食材費については、保護者負担の時と変更ありません。
質も量も低下したように思う。冷凍の野菜を使うので切り方などが本来の野菜らしくない。(サトイモが真ん丸で豚汁に入っている)	地場産品を使用できるよう努めていますが、季節によって手に入りにくい野菜や仕入れ値が高騰する食材は冷凍食品を使用しています。
無料化となった分の3億円をどこから捻出したのか明確にしてほしい。	職員の定数管理を徹底し、人件費を削減するとともに、事業仕分により経費の節減および合理化などを行い、捻出しています。
食物アレルギーへの対応が不十分なのでは？	食物アレルギーへの対応は、原因のアレルゲンによって多岐にわたるため、ひとりひとりへのきめ細やかな対応が困難です。安心安全に提供できるメニューのみの対応となっています。ご理解ください。
ノロウイルスで給食が提供できなかった時の対応を検討してほしい。(ご飯と牛乳、簡易的なおかずだけでは物足りない。おかずを持たせてあげられないか?)	感染症の流行拡大を防止するため、マニュアルを作成しました。通常給食を実施しない場合は、状況に合わせて衛生的に運搬できる限られた食材しか提供できませんので、事案に基づき、状況判断をしてその都度検討します。
安全安心な給食の提供をお願いします。(素材にも気を使ってほしい。施設・設備面の充実)	給食食材は、調理員が納品の際に検収を行い、品質の良い食材を使用できるように努めています。施設・設備は、随時購入、更新していきます。
食材の定期的な放射性検査と残留農薬検査をお願いしたい。	食材の微生物検査、理化学検査(残留農薬県検査)は「学校給食法(学校給食衛生管理基準)」に基づき検査を実施しています。また、放射性物質検査は、学校農園で栽培された野菜を中心に不定期に実施しています。
出来る限り地産地消を推進してほしい。(どの程度実施していますか?) (農家に生産してもらえないか?)	米飯は大田原市産、牛乳は栃木県産を提供しています。他の食材は各学校で食材を選定しており、地場産品を使用できるよう工夫しています。地域の農家の方に直接納品していただく食材もありますが、給食食材を専門的に生産するには解決しなければならない問題がありますので、関係機関と協議し検討していきます。